

# 北の スポボラ

スポーツをする楽しみ  
見る楽しみ  
支える楽しみ

発行 / 認定NPO法人 ランナーズサポート北海道

## 社会とのつながりを学ぶ場に 東農大オホーツクの1年生 オホーツク網走マラソンの学生スタッフで毎年活躍



そろいの緑のジャンパーで給水に当たる東農大生

オホーツク網走マラソンが9月24日に開催されました。エイドの充実ぶりと、オホーツク海、能取湖などの美しい景観を取り入れたコースが毎回、参加ランナーから高い評価を得ていますが、2015年の第1回から東京農業大学オホーツクキャンパスの1年生が学生スタッフとして参加しています。

9回目の今年も1年生のほぼ全員、約370人が。スタートや沿道、ゴールの各所で活躍。大会を大いに盛り上げました。この学生スタッフ活動は授業の一環です。学生が卒業後に社会人、職業人としてしっかり実力を発揮できるよう同大学が実施している社会人基礎力を養成するキャリアプログラムの一つで、オホーツク網走マラソンへの参加は、1年生必修の共通演習として位置づけられています。

北海道マラソンでも2023年大会では大学や専門学校、高校計28校約1,600人が学校単位でボランティアに参加し

ました。

大会前日の選手受付と40kmのスポンジ給水を担当した東海大札幌キャンパスの学生も、授業の一環として参加し、大学の授業だけでは得られない社会との結びつきを学んでいます。

マラソン大会のボランティアは教育の素材として様々な形で活用されています。(2面に続く)。

### 目次

- コンサドーレポラを発展改組 ③
- 健康の雑学 鼻呼吸と口呼吸 ③
- スペシャルオリンピックス、名寄で全国大会 ④